

# 抗がん剤プロトコール 届け票

申請日	2024年 6月 4日	
申請者	所属科:血液内科	医師名: 井上 敦司
<b>抗がん剤プロトコール内容</b>		
略名		
適応臓器名	再発又は難治性の多発性骨髄腫(標準的な治療が困難な場合に限る)	
薬剤名	商品名 エルレフィオ皮下注 44mg・76mg 一般名 エルラナタマブ (遺伝子組換え)	
注意点	薬剤の注意点を遵守すること。	
<b>用法・用量・投与スケジュール</b>		
1週1サイクル (24週まで) 1週目は入院での投与を推奨 2週1サイクル (25週以降)		
1サイクル目 (1週目) Day1(12mg) Day4(32mg)皮下投与		
2-24サイクル目 (2-24週目) Day1(76mg) 皮下投与 (週1回投与)		
25サイクル目以降 (25週目以降) Day1(76mg) 皮下投与 (2週1回投与)		
<b>注意</b> サイトカイン放出症候群 (CRS)、免疫エフェクター細胞関連神経毒性症候群 (ICANS) には十分注意する。 副作用対策として 副腎皮質ホルモン(デキサメタゾン 20mg 相当)・抗ヒスタミン薬(ジフェンヒドラミン 25mg)・解熱鎮痛薬(アセトアミノフェン 650mg)の前投薬を考慮。アクテムラ(トシリズマブ(遺伝子組換え))8mg/kg の投与も考慮する (生食 100mL(アセリオ 1000mg) デキサメタゾン 6.6mg×3V ポララミン注 2mg) カロナールの経口投与も考慮。 特に1サイクル目に注意		
Evidence	エルレフィオ添付文書・適正使用ガイド	
備考	本剤による治療は、免疫調節薬、プロテアソーム阻害剤及び抗 CD38 モノクローナル抗体製剤を含む少なくとも 3 つの標準的な治療が無効又は治療後に再発した患者を対象とすること。 CRS、ICANS の発現に注意する	
がん化学療法委員会承認日:2024年 8月 19日		